

かわら美術館 開館20周年記念特別展

安土・桃山の城郭革命

—信長・秀吉・家康と金箔瓦—

1月23日(土)～3月6日(日)

午前9時～午後5時 (観覧券の販売は午後4時30分まで)

休館日：月曜日 観覧料：高校生以上600円(480円)、中学生以下無料

※()内は高浜市内在住者、または20人以上の団体料金

※75歳以上の方、各種障がい者手帳をお持ちの方ほか、各種割引あり

平成7年10月7日の開館から、平成27年度で開館20周年を迎えました。これを記念して、かわら文化の大きな発展期となった安土・桃山時代の「城」をテーマとした展覧会を開催します。

安土・桃山時代、天下統一が成し遂げられ次第に世情が安定してくると、^{けんらんこう か}絢爛豪華な桃山文化が花開きました。建築、絵画、やきものなどさまざまなジャンルで、現在の日本文化の基盤となる多くの要素が、この時代に大きな変化・発展を遂げています。建物をきらびやかに飾り立てた「金箔瓦」は、信長によって生み出され、秀吉によって各地に広がったこの時代を象徴する遺物のひとつといえるでしょう。

本展では、この安土・桃山という時代を、その後の瓦発展の基盤ともなった「城」をキーワードに、金箔瓦そしてやきものや絵画、工芸品などを通じて紹介します。



金箔連珠三巴文軒丸瓦
(安土・桃山時代/安土城跡出土)
東近江市教育委員会所蔵



東照大権現真影
(江戸時代)
高浜市田戸社所蔵

連続講演会「信長・秀吉・家康の城と金箔瓦」

①「発掘調査と宣教師の記録から みた岐阜城・織田信長公居館跡」

と き：1月24日(日)午後2時～
講 師：高橋方紀氏

(岐阜市教育委員会)

内 容：近年の発掘調査により明らかになってきた国史跡岐阜城。宣教師ルイス・フロイスの記録の検討を交えつつ、その姿に迫ります。

②「天下人の城、聚楽第・ 伏見城と城下の金箔瓦」

と き：2月20日(土)午後2時～
講 師：森島康雄氏

(京都府立丹後郷土資料館)

内 容：出土する金箔瓦などから聚楽第・伏見城と城下町の姿を復元し、秀吉政権の首都、京都の成立過程を探ります。

③「天下統一の城、江戸城と 城下の金箔瓦」

と き：2月27日(土)午後2時～
講 師：金子智(かわら美術館学芸員)

内 容：天下統一後、家康の時代になると金箔瓦の使用は少なくなりますが、近年江戸城下でも使われていたことがわかってきました。これまで影の薄かった徳川の時代の金箔瓦について考察します。

ところ：講会議室 参加費：無料 募集人数：各80人(先着順) 申込：電話にて受付中

ワークショップ

「金箔瓦をつくろう」

と き：2月11日(木祝)午後2時～

ところ：講会議室

参加費：1,000円

募集人数：20人(先着順)

申込：1月11日(月・祝)午前9時
より電話にて受付

小さなワークショップ

「瓦の拓本ミニ体験」

と き：2月28日(日)午前10時～

正午、午後2時～4時に随
時開催

ところ：1階ロビー

参加費：無料

申込：不要

ギャラリートーク

と き：1月31日(日)午前11時～

2月14日(日)午後2時～

ところ：展覧会会場

参加費：無料

※ただし当日観覧券が必要

申込：不要

内容：学芸員が展示のみどころを
案内します。

ロビーコンサート

と き：1月30日(土)・31日(日)、2月13日(土)
午前11時～/午後2時～

問合せ先 かわら美術館 ☎52-3366